



42

 通巻 第2746号
2016年5月19日発行

 1960年創立
昭和35年2月5日

 第2510地区
重点課題

●2015-2016年度 IRテーマ

世界へのプレゼントになろう

2015-16年度IR会長

K. R. ラビンドラン

- ①クラブ戦略計画への支援
- ②新会員のフォロー支援
- ③クラブサポート強化

●本日5月19日(木)のプログラム

◎移動夜間花見例会

点鐘18:00～ 会場:「おたる宏楽園」

●来週5月27日(金)のプログラム

◎休会となります 第1節6-C項

●再来週6月3日(金)のプログラム

◎出席退会防止委員会担当例会

スピーカー 山村委員長

●第41回例会報告 5月13日(金)「インターネット協議会」旭 克久様(倶知安RC)

■司会 廣瀬副会長

■点鐘 ■廣部会長

■ロータリーソング ■「我等の生業」

■ゲスト・ビジターの紹介 ■

旭 克久様 (倶知安RC)

船津 秀樹 教授 (小樽商大)

■留学生支援寄付金贈呈 ■



■会長の時間 ■ 廣部会長

○本日は、講師として倶知安RCの旭克久様をお迎えしています。旭様、遠いところをおいでいただき有り難うございます。後ほど、講演よろしくお願ひいたします。小樽商大からは、先週の米山奨学生、その前には講師としての片桐教授、今日は、船津教授がお見えになっております。ここで今年度の留学生支援寄付金をお渡ししたいと思います。

理事会の報告をいたします。5月、6月の例会プログラムです。来週は、19日、木曜日、6時から夜間例会です。お間違えの無いように。場所は、おたる宏楽園。会費は5,000円。遅くなりなりましたが、IMの慰労も兼ねてのお花見例会です。5月27日は休会です。この日は、横浜中クラブの40周年記念式典ですので、行ってまいります。6月3日は出席・退会防止委員会担当例会。6月10日は広報情報真心箱委員会担当例会、講師は新倉屋システム(株)新倉正三氏。当クラブの新しいホームページを作成した会社の社長で、新倉会員のご子息です。6月17日は各委員会活動報告のクラブフォーラム。6月24日はいよいよ期末懇親会です。会場は朝里クラッセホテル。会費は7,000円。議題の3でIMの慰労を兼ねる、とあるのは5月19日のことで、間違いです。申し訳ありません。議題2、4月22日の例会でもお話ししましたが、熊本県等地震災害義捐金のお願ひが、地区から届いております。早速ですがこの後、ざる回しでということになりました。よろしくご協力をお願いいたします。横浜中クラブ40周年の参加者は10名。お祝い金15万プラス3万程度のお土産。議題の最後、当クラブの岡崎会員が委員長をつとめる地区ポリオプラス委

員会の募金目標、一人30ドルを達成するため、不足分6,420円をロータリー財団委員会の予算から回すということで了承していただきました。5月8日、札幌第一ホテルで開催された米山学友会、歓迎会に学友委員の山田会員と共に出席してまいりました。来期から、地区組織が変更になるので、米山学友委員会単独の行事としては、これが最後になりそうです。地区から、日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会の案内がまいりました。対応はゴルフ同好会にお願いしたいと思います

■幹事報告 ■ 坂口幹事

○来週の例会は、例会日が5/19(木) 会場は宏楽園点鐘6時です。会場までの、送迎バス小樽駅前長崎屋隣河辺石油スタンド前5時20分頃出発 その後花園十字街 入船十字街奥沢十字街新光十字街に停まります。お時間くれくれもお気をつけて下さい。

■委員会・同好会報告 ■

◎広報情報真心箱委員会 永原委員長

○小樽南ロータリークラブのホームページが新しくなりました 会員皆様ぜひご覧下さい。

◎奥沢村会 大倉会員

○14日あさり宏楽園にて、「奥沢村会」が開催されます18名の出席者を予定いたしております。

■出席委員会 ■

●平成28年5月13日

会員総数 72名 本日の欠席者 24名
浅村、東、荒木、荒田、上野、大橋、小笠原、大谷、角野、工藤紺谷、佐藤(公)、佐藤(友)、鈴木、高木(成)、地山、林、本間(清)、前川、松尾、湊、村越、本吉、山吹

●平成28年4月29日(金)

会員総数 72名 祝日休会につき 確定出席率 100%

■メーキャップ ■

4/17 桂、松尾 (小樽南RC) 5/4 上野 (歓迎会)

JRIC (全国ロータリアンインターネット協議会) とロータリー

— ロータリーの歴史と裏話 —



<http://www.jric.gr.jp/>

倶知安ロータリークラブ 旭 克久氏

(J R I C 2010-12・2014-15 幹事)



■小樽はパソコン通信先進地だった

小樽には1990年代には小樽市民病院にサーバーを置いた OMC (小樽メディカルコミュニケーション) という草の根 BBS があり、当時は私もその会員でした。

■ J R I C の始まり

J R I C の設立は1998年3月9日2660地区大阪北部第5組の「インターネット時代のロータリー活動」という先進的 IM がきっかけとなり、9月18日に第1回設立総会が開催され、当時クラブ会長だった私も設立メンバーとして参加しました。

主な議題は、①インターネットでの例会 (やがて e-クラブが出来た)、②会員同士の情報交換、③事務合理化等でした。

■ J R I C の活躍

①英文の R I ニュースバスケットが松岡信雄会員 (東京 RC) の努力により6時間後の翌朝には日本語になってメールで届くようになりました。当時は記事の翻訳が相当遅く、画期的な事ではありましたが、諸般の事情によりやむなく中止に至ってます。

② J R I C メンバーが中心となり、R J W (ロータリー・ジャパン・ウェブ) が田中 毅 PDG (尼崎西)・成川守彦 PDG (有田)・河本親秀 PDG などの努力により公式団体として認められました。これはウェブ上での文章、すなわち日本語が認められたという事です。いろいろあり、その後解散。

③規定審議会速報 小船井 PDG (釧路)
過去、何度もロータリーの立法機関である規程審議会での審議内容が翌日には報告され、直近では小船井 PDG が前回と今回の審議結果を報告されてます。

■主なネット上でのロータリー関連

- ① J R I C 250~350名で推移 (年会費 3000円)
- ② F B ロータリアン 約2200名 (無料)
- ③源流の会 (田中 毅 PDG) (年会費 2000円) 約400名
- ④ e-クラブ 現在日本には十数クラブ

各団体には各々の特徴があり、J R I C が会費を取るのには1年に1度はアクセスさせる為で、18年間での延会員は1千数百名となります。

■規程審議会

今回の規程審議会でもロータリーの歴史的転換が決定しましたので、話を変えてお話しします。

今回のコンセプトは『ロータリーの柔軟化』です。

- ①入会金の無料、②会員資格の簡略化、③月2回以上の

例会開催と例会の柔軟対応、④リアルクラブと e-クラブの区別を無くす、等々数え上げたらきりがありません。

これにはメリットとデメリットがあると思って下さい。

簡単に言うと、ロータリーのライオンズ化 (I Serv から We Serv への大幅なシフト) という事で、ロータリーは国際奉仕団体へ完全に舵を切ったという事です。

ネット上ではすでに反発する方もおられますが、立法機関の最終決定であり、今やそちらが多数派である以上所定の手続き以外で覆す事は不可能です。

逆にメリットとして様々な支援体制がロータリーという場を通して個人としても広範に出来るようになった事です。

インドでのポリオ撲滅を20年以上続けている関場 PDG (弘前アップル) や10年に亘りタイ国アカ族支援や水資源供給を続ける原田チェンライ前会長などへ地区、地域をとられない活動の輪がロータリアンへ広がっており、従来とは違った形が正式に取れるようになりました。

■今後のロータリーは?

ロータリーは1930年に修正資本主義を導入して以来、絶えずダイナミックに変化してます。『原点に戻れ』とよく言われますが、原点ってどこでしょう?

創立した1905年? シェルドンの唱えた『He profits most who serves best』?、対立の妥協の産物である『決議 23-34』?、ハリスとシェルドンが袂を別った1929年?、超我の奉仕を取り入れた時?、さらに50年、100年とその立ち位置を示さなければ単なるつまみ食いです。

しかし、そういった変遷を経て現在のロータリーがある以上、歴史は重要です。

ロータリーの歴史を分かりやすく解説した山片東大阪みどり RC 会員の『ロータリーの歴史に学ぶ』をお持ちしましたので、是非読んで参考になさって下さい。

■『柔軟性』とは?

全ての根本は各クラブにあり、自分達のクラブはどういった方向性を持つかを定める事が出来ると言う事で、その縛りが緩くなったと思えば、『地域に根ざしたクラブ』とか『国際奉仕に力を入れる』等々ますます独自性を持ち、国際ロータリーを利用する事も出来るというふうにも取れます。

注: 規程審議会での決定を覆すには会員 (RC) の5%以上の反対を提出し、全会員 (RC) による投票により賛否を取れるようになってます。

